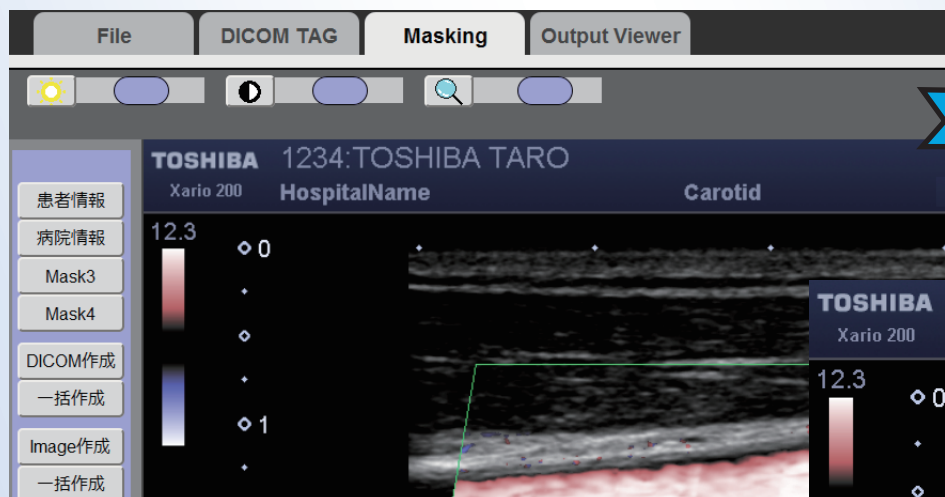


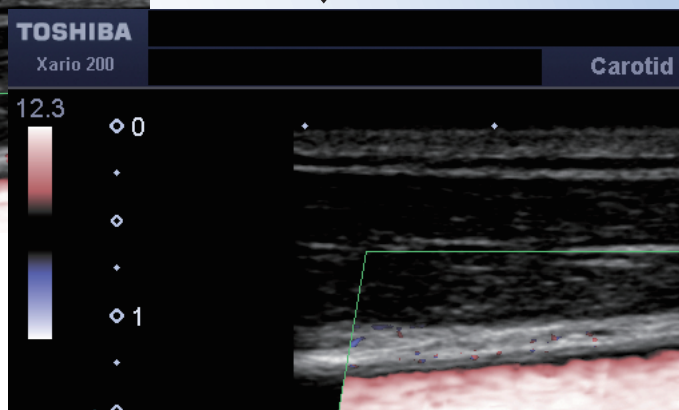
idMasque

超音波画像編集システム

超音波動画像(DICOM)の患者情報をすばやく簡単にマスキング!!



DICOM画像ファイルには、患者情報が付加されています。
超音波画像には画面上にも患者情報が表示されています。
個人情報保護の観点から安易に外部へ持ち出せません。



- ・ 患者情報を間違えて検査したことはありませんか？
- ・ 超音波動画像に表示されている患者情報を削除するのに苦労したことはありませんか？
- ・ 学会発表などの資料として、超音波画像の一部を切り出して使用したいと思ったことはありませんか？
- ・ 紹介病院から入手した画像に含まれている患者IDが、病院で使用している患者IDと違うために画像を登録する際に患者情報を修正する必要が生じたことはありませんか？

そんな場合に本システムを導入する事により、画像上に表示されている患者情報や施設情報の削除や、DICOM画像内に入っている患者情報の修正が簡単に行えます。
カンファレンスや学会発表用の資料作成、遠隔医療支援ネットワークや研究用の臨床画像データ作成など幅広い用途にお使いいただけます。

idMasqueの主な機能

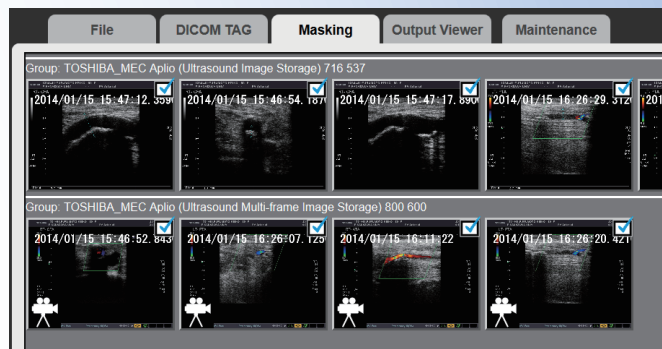
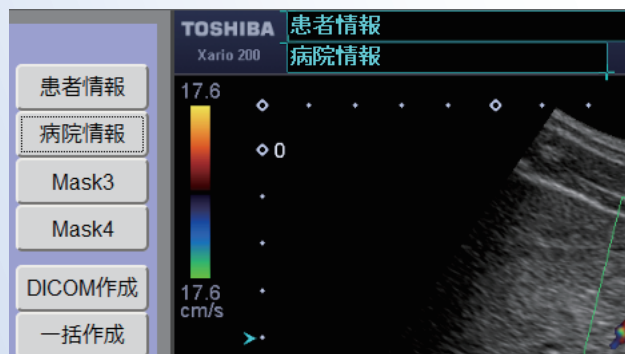
- ・ 患者情報、病院情報エリアの自動判別機能
- ・ 複数画像の一括マスキング機能
- ・ DICOM画像ファイルの患者情報の編集機能
- ・ DICOMメディア作成機能
- ・ オプション
DICOM通信機能、画像データベース連携機能、
サーバー＆クライアントタイプでの構築
- ・ 動画像のトリミングや必要なフレームの切り出し機能
- ・ 汎用画像ファイル（JPEG、MPEG4）出力機能
- ・ セキュリティー管理機能
（ユーザー認証、入出力操作履歴の集計）

※ 詳しくはお問い合わせください

idMasque

画像に表示されている患者情報エリアの自動判別機能と複数画像の一括マスキング機能

読み込まれたDICOM画像は、画素数等によりグループ分けして表示されます。グループ単位で一括してマスキング処理が出来ます。

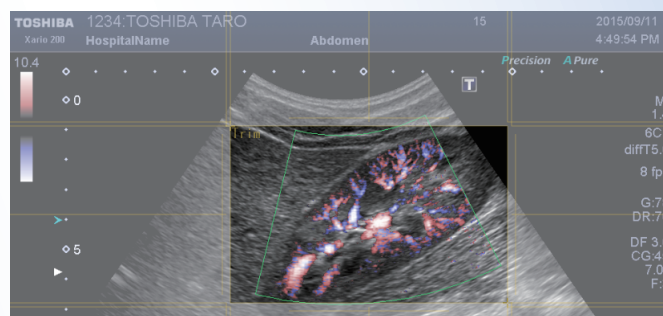


- ・ 患者情報、病院情報のマスキングエリアは自動認識されます。(※)
- ・ DICOM画像内に入っている患者情報も同時に編集されます。

※ マスキングエリアが検証されている超音波診断装置の画像のみ

動画画像の編集機能

動画画像の一部をトリミングする機能や、必要なフレームだけを切り出す機能により、効果的な学会発表用の画像が簡単に、汎用画像ファイルで出力できます。



システム構成

CPU Intel®Core™ i3 以上、OS Windows10 x64以降、メモリ 8 GB 以上
ハードディスク 500 GB 以上、光学ドライブ、フルHD液晶モニタ (1920×1080)

お問い合わせ

株式会社ハンドレットソフト
〒113-0022 東京都文京区千駄木5-32-20
TEL 03-5814-5466
Mail info@hundredsoft.jp

- ※ 本資料に記載されている内容は、2015年9月現在のものです。
- ※ 本資料に記載されている内容、製品仕様等は予告なく変更することがあります。
- ※ 本資料で掲載している画像は、東芝メディカルシステムズ株式会社様からご提供いただきました。